

対象校No. 816

注1

学校コード F128310108749

注2

変更年度 令和 3年度

計画の区分： 大学の収容定員に係る学則変更

注2

神戸女子大学 文学部 国際教養学科

**認可**

## 収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人行吉学園

令和7年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	教務事務部
職名・氏名	キョウムジムブチョウ カワイ ヒデユキ 教務事務部長・河合 英行
電話番号 （夜間）	078-731-4416（内線：3139） -
e-mail	kyomu@yg.kobe-wu.ac.jp

(注) 1 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

2 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

3 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、

その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。

例) ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

# 目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	3
①文学部国際教養学科	
2. 既設大学等の状況 . . . . .	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	6

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人行吉学園

## (2) 大学名

神戸女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒654-8585  
兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合には、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	変更時	変更状況	備考
理事長	(ユキヨシ ヨシタカ) 行吉 宜孝 (平成31年4月)	<del>(タバタ トシキ)</del> (オカダ マコト) 多畑—寿城 岡田 誠 <del>(令和5年7月)</del> (令和7年4月)	前理事長退任のため変更 (6) 前理事長退任のため変更 (7)
学長	(クリハラ ノブタカ) 栗原 伸公 (平成31年4月)	(コウ アイコ) 洪 愛子 (令和7年4月)	任期満了のため変更 (7)
学部長	(ミヤケ シゲオ) 三宅 茂夫 (平成31年4月)	(マツシタ タカアキ) 松下 孝昭 (令和5年4月)	任期満了のため変更 (5)
学科長等	(カノウ キョウ) 狩野 恭 (令和2年4月)	(ノグチ カズミ) 野口 和美 (令和4年4月)	任期満了のため変更 (4)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画						定員変更年度	学生募集の停止について	備考						
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員									
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前						変更後			
文学部 国際教養学科 学士(国際教養学)	4年	40人	60人	2年次 0人	2年次 0人	3年次 0人	3年次 0人	160人	240人	令和3年度		・令和3年度：3年次編入2名、2年次編入0名 ・令和4年度：3年次編入0名、2年次編入0名 ・令和5年度：3年次編入2名、2年次編入0名 ・令和6年度：3年次編入1名、2年次編入1名 ・令和7年度：3年次編入0名、2年次編入0名			
区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	-	0.29倍	倍
志願者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
受験者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
合格者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
B 入学者数	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )			
入学定員超過率 B/A	-		0.86		0.28		0.38		0.2		0.28				

- (注)・当該調査対象の学部等の名称、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
  - ・様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
  - ・認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
  - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「-」を記入してください。
  - ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・転入学生は記入しないでください。
  - ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
  - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「2 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	神戸女子大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	7	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
文学部	4	240	-	960	-	0.44	-	-	昭和44	-				
日本語日本文学科	4	60	-	240	学士(日本語日本文学)	0.61	-	-	平成18	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号				
英語英米文学科	4	60	-	240	学士(英語英米文学)	0.35	-	-	平成18	同上				
国際教養学科	4	60	-	240	学士(国際教養学)	0.29	-	令和3	平成18	同上	令和3年度から入学定員変更(40→60)			
史学科	4	60	-	240	学士(歴史学)	0.50	-	-	昭和44	同上				
教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	昭和44	同上	令和7年4月入学生より学生募集停止			
教育学部	4	130	-	130	-	0.59	-	-	令和7	-				
教育学科	4	130	-	130	学士(教育学)	0.59	-	-	令和7	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号	令和7年度開設			
健康福祉学部	4	160	-	640	-	0.70	-	-	平成18	-				
社会福祉学科	4	80	-	320	学士(社会福祉学)	0.58	-	-	平成18	兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号				
健康スポーツ栄養学科	4	80	-	320	学士(栄養学)	0.81	-	-	平成21	同上				
家政学部	4	230	3年次10	940	-	0.70	-	-	昭和41	-				
家政学科	4	80	-	320	学士(家政学)	0.57	-	-	昭和41	兵庫県神戸市須磨区東須磨青山2番1号				
管理栄養士養成課程	4	150	3年次10	620	学士(栄養学)	0.77	-	-	昭和43	同上				
看護学部	4	90	-	360	-	1.09	-	-	平成27	-				
看護学科	4	90	-	360	学士(看護学)	1.09	-	-	平成27	兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号				
心理学部	4	80	-	320	-	1.04	-	-	令和4	-				
心理学科	4	80	-	320	学士(心理学)	1.04	-	-	令和4	兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目7番2号	令和4年度開設			
大学全体	4	930	3年次10	3350	-	-	-	-	-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」として全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」としては、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。  
 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和3年度)	特になし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (文学部国際教養学科)	【AC】 指摘事項 (改善) コロナ禍の影響により、令和3年度の高校訪問やオープンキャンパス等の学生募集は前年度に引き続き制限せざるを得ない状況であった。このことから、令和4年度入学生数は17名となり、令和3年度の入学生50名から大きく減少した。令和4年度の学生募集もコロナ禍以前の状況までの回復に至ってはいないが、志願者回復プロジェクトを立ち上げ、広報的観点と学術的観点から志願者の回復に務めた。その結果、令和5年度入学生数は21名となり、令和4年度から微増となった。引き続き、入学定員充足へ向けた取組を継続する。(5)	入学定員充足へ向け、今年度は昨年度以上のオープンキャンパスや高校訪問の充実を図り、広報活動の強化を予定している。入試においては、日程の変更や地方会場入試を増加させる等の対応を行う。(5)
	【追加書面調査】 (R5.12) 平均入学定員超過率が0.50倍、収容定員充足率が0.37倍と著しく低い。その原因分析の状況及び今後の改善策、今年度の学生確保の状況等について具体的に説明すること。 (文学部国際教養学科)	数値に誤りがあった為、平均入学定員超過率を0.50倍から0.51倍、収容定員充足率を0.37倍から0.49倍に修正し、履行状況報告書へ反映した。 新型コロナウイルスの影響により海外留学プログラムが中断せざるを得なかったこと等を踏まえ全体的に受験生への訴求力が弱まっており、オープンキャンパスの来訪者数もR3年62名、R4年65名、R5年65名と横ばいになっている。 今年度より予算を追加しオープンキャンパスの展示物やプログラムの充実化、学科のホームページの改修、さらにSNSでの広報活動強化やオープンキャンパスの回数増(1回追加)を行っている。これに加え、高校訪問担当者を3名から4名へ増員するとともに地方エリアの拡大により高校訪問の強化や受験生との接触回数の増加を図っている。またA0入試や推薦入試によって年内に進学先を決めておこうとする昨今の受験者の志向を踏まえ、募集定員の多くを年内実施のA0入試や公募制推薦入試に振り向けるなどの措置をとる対策を行っている。しかしながら、令和5年度の学生確保の状況は、昨年度と比較し入学者数4名増の21名であり入学定員充足には至っていない。 今後さらなるオープンキャンパスの回数増やA0入試について選考方法の改善を計画し、教育上の特色である資格取得やグローバル教育について受験生への訴求力の向上を図る。	
設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	収容定員充足率が0.49倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、速やかに長期的な学生確保の見直しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。 (文学部国際教養学科)	【AC】 指摘事項 (是正) 令和3年度に入学定員を40名から60名に増加して以降の入学者は、令和3年度は50名、令和4年度は17名、令和5年度は21名と推移しており、コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、令和6年度入学生は10名となり、令和6年5月1日時点の収容定員充足率は0.45倍となっている。令和6年度の志願者数は令和3年度との比較で28.5%であり、学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(6)	令和3年度以降の入学志願者減少を踏まえ、今後のオープンキャンパスでは回数の増加や学科毎に行う催しの充実の他、学生生活のイメージを参加者に伝えられる内容を検討し、実施している。また、令和7年度入試では、多くの志願者獲得を目指し、A0入試制度、地方入試会場の見直しを行う。 なお、近年の文学部全体の入学者数減少を危機的状況と捉え、令和8年4月開設へ向けた学科の改組について、入学定員の見直しを含めた検討を進めている。(6)
設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	神戸女子大学の既設学科等(文学部英語英米文学科)の収容定員未充足の改善に努めること。	【AC】 指摘事項 (改善) 令和3年度以降の入学者数は、令和3年度は43名、令和4年度は33名、令和5年度は19名、令和6年度は16名と減少が続いており令和6年5月1日時点の収容定員充足率は0.46倍となっている。志願者数は令和3年度との比較で38.4%であり、学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による志願者数の大幅な減少が続いている。(6)	令和3年度以降の入学志願者減少を踏まえ、今後のオープンキャンパスでは回数の増加や学科毎に行う催しの充実の他、学生生活のイメージを参加者に伝えられる内容を検討し、実施している。また、令和7年度入試では、多くの志願者獲得を目指し、A0入試制度、地方入試会場の見直しを行う。 なお、近年の文学部全体の入学者数減少を危機的状況と捉え、令和8年4月開設へ向け、学科の改組について、入学定員の見直しを含めた検討を進めている。(6)

<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和5年度)</p>	<p>神戸女子大学の既設学科等（文学部教育学科）の収容定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>令和3年度以降、入学定員の未充足が続いている。令和6年度の入学生数は令和5年度と同数の73名であり、収容定員充足率は57.4%となった。このことは、18歳人口の減少や全国的な教員採用試験の志願者減少の影響に加え、教職課程を持つ全国の私立大学が近年、教育学部への改組を進めていることが挙げられる。多くの大学が教育学部に改組する中、文学部教育学科として学生募集を行うことは、インターネットを活用した大学検索等においてアピール度が大きく異なり、本学教育学科の教育力や教員養成力などが受験生や保護者、高等学校関係者、教育・保育分野担当者など社会に対して伝えきれていないことから、文学部教育学科の認知度が下降していることが考えられる。(6)</p>	<p>履行中</p> <p>令和7年4月に教育学部教育学科への改組を行うことを構想しており、文学部教育学科で置いている幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、保育士資格の課程に加え、特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）の課程を置き、カリキュラムの更なる充実を図る。このことにつき、令和6年4月に運営委員会への事前相談へ諮るための書類の提出を行った。届出での設置が可能との回答が得られた際は、届出申請書類を提出次第、学生募集を開始する予定である。学生募集においては、例年の募集活動に加え、教育学部教育学科開設を大々的にPRすることで広報活動を活性化させ、教育学部のみならず、全学的な志願者増加を見込んでいる。また、文学部教育学科では入学定員165名、収容定員660名としていたが、教育学部教育学科の入学定員は130名、収容定員520名にすることで、定員充足を確実なものとする。(6)</p>
<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和6年度)</p>	<p>○ 収容定員充足率が0.45倍と著しく低い。入学前教育の充実を含め、教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、より効果的な改善策を新たに講じる等、令和7年度の入学定員の充足に努めること。(文学部国際教養学科)</p>	<p>【AC】 指摘事項 (是正)</p>	<p>直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願者の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は10名、令和7年度は17名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.29倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(7)</p>	<p>履行中</p> <p>18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員60人→20人、収容定員240人→80人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。(7)</p>
<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和6年度)</p>	<p>○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部日本語日本文学科）の収容定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願者の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は29名、令和7年度は37名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.61倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(7)</p>	<p>履行中</p> <p>18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した。（入学定員60人→40人、収容定員240人→160人）また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。(7)</p>
<p>設置計画履行状況</p> <p>調査結果</p> <p>(令和6年度)</p>	<p>○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部英語英米文学科）の収容定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願者の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は16名、令和7年度は22名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.35倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(7)</p>	<p>履行中</p> <p>18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員60人→20人、収容定員240人→80人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。(7)</p>

設置計画履行状況	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部史学科）の収容定員未充足の改善に努めること。		直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。志願者の減少は当初コロナ禍が大きく影響していると考えられた。しかしながら、令和5年5月にCOVID-19が5類感染症となり、学生募集がコロナ禍以前と同様に行えるようになったが、入学者は、令和6年度は19名、令和7年度は24名となり、令和7年5月1日時点の収容定員充足率は0.50倍となっている。全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や学科の認知度低下による受験者数の大幅な減少が続いている。(7)	履行中	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員60人→30人、収容定員240人→120人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。(7)
調査結果 (令和6年度)		【AC】 指摘事項 (改善)			
設置計画履行状況	○ 神戸女子大学の既設学科等（文学部教育学科）の収容定員未充足の改善に努めること。		令和7年4月に教育学部教育学科へ改組を行った。文学部教育学科で置いている幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、保育士資格の課程に加え、新たに特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）の課程を置き、カリキュラムの更なる充実を図るとともに、18歳人口の減少や全国的な教員採用試験の志願者減少の影響も考慮し、文学部教育学科では入学定員165名、収容定員660名としていたが、教育学部教育学科の入学定員は130名、収容定員520名にした。(7)	履行済	教育学部教育学科においても大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。教育学部教育学科開設を継続的にPRすることで広報活動を活性化させ、定員充足を確かなものとする。(7)
調査結果 (令和6年度)		【AC】 指摘事項 (改善)			
設置計画履行状況	○ 神戸女子大学の既設学科等（健康福祉学部社会福祉学科）の収容定員未充足の改善に努めること。		直近5年間に於いて入学定員未充足の状況が続いている。とくに令和5年度は52人、令和6年度は38人、令和7年度は37人と入学者数が大きく減少しており、収容定員充足率は0.58倍となった。コロナ禍以降、全国的な学問分野の社会的ニーズの低下や競合する他大学で合格が得やすい状況もあり、受験者数の大幅な減少が続いている。(7)	履行中	18歳人口の減少、全国的に女子大学の入学志願者動向が減少傾向であり、これらの状況を踏まえ、学科の改組について検討を進めるとともに、令和8年4月からの入学定員及び収容定員を見直し、収容定員関係学則変更届出書を提出した（入学定員80人→50人、収容定員320人→200人）。また、大学の認知度の維持拡大のための広報の在り方を継続的に検討し、令和6年度からの新たな取組として、メディア戦略室を設置しSNSを用いた大学の魅力の積極的発信やHP等の広報をより戦略的に行っている。SNSを中心としたWeb広報の強化も行っており、効果測定に基づく効率の良い広報戦略への転換により、志願者数アップを目指している。本学ホームページや各種受験業者媒体への資料請求者に対して、大学案内等、募集資料を送付しており、その過程でオープンキャンパス（年間9回）への参加、出願の促進をしている。(7)
調査結果 (令和6年度)		【AC】 指摘事項 (改善)			

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。